



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月2日
上場取引所 東

上場会社名 セイコーホールディングス株式会社
 コード番号 8050 URL <http://www.seiko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 吉伸
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 坂本 和彦 TEL 03-3563-2111
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期 第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	63,472	6.8	2,717	206.7	3,111	—	1,199	—
29年3月期第1四半期	59,433	△ 15.9	886	△ 80.2	139	△ 97.3	△ 1,268	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 4,003 百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 △7,252 百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	5.82	5.82
29年3月期第1四半期	△ 6.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	336,547	109,615	29.7
29年3月期	328,857	107,161	29.8

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 100,096 百万円 29年3月期 98,119 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期（予想）	—	7.50	—	37.50	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であるため、平成30年3月期（予想）の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期（予想）の1株当たり期末配当金は7.5円となり、1株当たり年間配当金は15円となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	260,000	1.1	6,500	△ 13.2	7,000	4.9	5,000	△ 7.3	121.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であります。平成30年3月期の連結業績予想（通期）における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 一社（社名）—、除外 1社（社名） S. I. E. Netherlands B. V.

（注）詳細は、【添付資料】8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

30年3月期1Q	207,021,309株	29年3月期	207,021,309株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

30年3月期1Q	933,124株	29年3月期	931,916株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年3月期1Q	206,088,541株	29年3月期1Q	206,633,516株
----------	--------------	----------	--------------

（注）期末自己株式数及び平成30年3月期第1四半期の期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託（B B T）が保有する当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（株式併合後の配当及び連結業績予想について）

平成29年6月29日開催の第156回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であります。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成30年3月期の配当予想

1株当たり配当金 第2四半期末 7円50銭（注1） 期末 7円50銭（注2）

2. 平成30年3月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益 通期 24円26銭

（注1）第2四半期末の配当は、株式併合実施前の株式数に対して支払われます。

（注2）株式併合考慮前に換算した配当額です。

（注3）平成30年3月期の年間配当金（株式併合考慮前）は15円となります。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	P. 8
(セグメント情報)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2017年4月1日～6月30日)における世界経済は、米国経済は安定的な成長軌道を維持し、欧州経済は緩やかに景気が拡大、中国経済は景気減速に歯止めがかかる一方で、地政学リスクの高まりなど先行きに不透明感も広がっています。わが国の経済は、海外経済の回復や安定した為替相場を背景に企業の景況感が改善しているものの、将来不安や可処分所得の減少などにより家計の節約志向は強く、個人消費が持ち直しているという実感が乏しい環境となっています。

当社の当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期から40億円増加し、634億円(前年同期比6.8%増)となりました。事業別では、ウオッチ事業、電子デバイス事業およびシステムソリューション事業の売上高がすべて前年同期を上回りました。連結全体の国内売上高は338億円(同2.6%増)、海外売上高は295億円(同12.0%増)となり、海外売上高割合は46.6%でした。

利益面では、売上高の増加などにより営業利益は前年同期から18億円増加し、27億円(同206.7%増)となりました。営業外収支が為替差損の減少など前年同期から改善した結果、経常利益は前年同期を29億円上回る31億円となりました。事業構造改善費用2億円ならびに関係会社清算損1億円を特別損失に計上し、法人税等および非支配株主に帰属する四半期純利益控除後の親会社株主に帰属する四半期純利益は11億円(前年同期は12億円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

①ウオッチ事業

ウオッチ事業の売上高は、前年同期比9億円増の316億円(前年同期比3.1%増)となりました。国内は、独立ブランド化した「グランドセイコー」が好調に推移したほか、新製品投入により「アストロン」「プレザージュ」の売上も前年同期を上回りました。流通別ではデパート、専門店、インターネットおよびアウトレット向けの売上が前年同期と比較して増加しています。海外は、為替の追い風もありアジアや欧州向けの販売が堅調に推移しました。ウオッチムーブメントの外販は、一部製品の市況が回復しつつあり、前年同期の売上を上回りました。

利益につきましても、売上高の増加により営業利益が14億円(同2.8%増)となりました。

②電子デバイス事業

電子デバイス事業は売上高215億円(前年同期比8.8%増)となりました。半導体がスマートフォン向け部品などを中心に好調に推移したほか、半導体製造設備向けの高機能金属製品やPOS端末用のサーマルプリンターなどが堅調だったことから、営業利益は20億円(同411.2%増)と前年同期を大きく上回りました。

③システムソリューション事業

システムソリューション事業は売上高61億円(前年同期比32.0%増)、営業利益2億円(同3.2%増)となりました。買収した株式会社アイ・アイ・エムが展開する性能管理ソフトウェアの販売が堅調であったことに加え、ホームセキュリティ向けのモバイルソリューション事業などが好調に推移しました。

④その他

その他の売上高は58億円(前年同期比3.4%減)、営業損失5百万円(前年同期は68百万円の営業損失)となりました。その他に含まれる事業のうち、クロック事業は前年同期から売上高が減少しましたが、和光事業は前年同期の売上高を上回ることが出来ました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は3,365億円となり、前年度末に比べて76億円の増加となりました。流動資産では、たな卸資産が42億円増加した一方、売上債権が16億円減少したことなどにより、流動資産合計で前年度末より33億円増加し1,573億円となりました。固定資産では、有形固定資産が8億円減少した一方、無形固定資産が28億円、投資その他の資産が22億円増加した結果、固定資産合計で前年度末と比べ42億円増加し1,792億円となりました。

(負債)

負債につきましては、短期借入金が66億円増加した一方、1年内返済予定の長期借入金が25億円、長期借入金が19億円減少した結果、借入金合計で1,356億円となりました。そのほか、支払手形及び買掛金が54億円増加した一方、未払金が52億円減少したことなどにより、負債合計では前年度末と比べ52億円増加し2,269億円となりました。

(純資産)

純資産につきましては、株主資本が配当金の支払いなどにより3億円減少しましたが、その他の包括利益累計額合計がその他有価証券評価差額金の増加などにより23億円増加したことで、合計で前年度末と比べ24億円増加の1,096億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の事業の状況は上記のように堅調に推移しておりますが、今後の為替相場の動向や世界経済に対する懸念など当社グループを取り巻く環境の変化を慎重に見極める必要があることから、現時点では平成30年3月期の連結業績予想に変更はありません。平成29年5月10日に公表しました通期の連結業績見通しの変更が必要な場合は速やかにお知らせいたします。

※上記の予想は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,355	34,563
受取手形及び売掛金	39,730	38,113
たな卸資産	66,177	70,415
未収入金	3,679	4,229
繰延税金資産	3,992	4,214
その他	6,250	7,315
貸倒引当金	△1,260	△1,529
流動資産合計	153,925	157,322
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	72,678	73,008
機械装置及び運搬具	83,501	83,755
工具、器具及び備品	31,297	31,819
その他	2,908	2,880
減価償却累計額	△144,359	△146,111
土地	48,945	49,143
建設仮勘定	1,026	693
有形固定資産合計	95,998	95,189
無形固定資産		
のれん	7,298	9,999
その他	9,038	9,177
無形固定資産合計	16,336	19,176
投資その他の資産		
投資有価証券	48,131	50,259
繰延税金資産	8,060	8,100
その他	6,583	6,703
貸倒引当金	△178	△204
投資その他の資産合計	62,596	64,858
固定資産合計	174,931	179,225
資産合計	328,857	336,547

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,196	26,655
電子記録債務	7,021	7,617
短期借入金	49,468	56,107
1年内返済予定の長期借入金	30,038	27,439
未払金	13,311	8,078
未払法人税等	936	982
繰延税金負債	20	2
賞与引当金	3,995	2,265
その他の引当金	646	740
その他	10,132	13,440
流動負債合計	136,767	143,329
固定負債		
長期借入金	54,055	52,107
繰延税金負債	7,381	7,682
再評価に係る繰延税金負債	3,614	3,614
その他の引当金	567	562
退職給付に係る負債	12,428	12,858
資産除去債務	702	710
その他	6,177	6,068
固定負債合計	84,928	83,603
負債合計	221,696	226,932
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	7,245	7,245
利益剰余金	59,535	59,184
自己株式	△329	△330
株主資本合計	76,451	76,098
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,962	16,369
繰延ヘッジ損益	39	19
土地再評価差額金	8,190	8,190
為替換算調整勘定	△402	504
退職給付に係る調整累計額	△1,121	△1,086
その他の包括利益累計額合計	21,668	23,997
新株予約権	—	1
非支配株主持分	9,042	9,516
純資産合計	107,161	109,615
負債純資産合計	328,857	336,547

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	59,433	63,472
売上原価	36,653	39,001
売上総利益	22,780	24,470
販売費及び一般管理費	21,894	21,752
営業利益	886	2,717
営業外収益		
受取利息	36	33
受取配当金	369	370
その他	649	551
営業外収益合計	1,054	954
営業外費用		
支払利息	458	356
その他	1,342	203
営業外費用合計	1,801	560
経常利益	139	3,111
特別損失		
事業構造改善費用	—	223
関係会社清算損	—	142
特別損失合計	—	366
税金等調整前四半期純利益	139	2,745
法人税等	1,214	1,070
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,075	1,675
非支配株主に帰属する四半期純利益	192	476
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,268	1,199

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,075	1,675
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,567	1,313
繰延ヘッジ損益	△406	△23
為替換算調整勘定	△3,727	334
退職給付に係る調整額	16	34
持分法適用会社に対する持分相当額	△492	668
その他の包括利益合計	△6,177	2,327
四半期包括利益	△7,252	4,003
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,370	3,528
非支配株主に係る四半期包括利益	117	474

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

S. I. E. Netherlands B. V. は、当第1四半期連結会計期間において清算終了したため、連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ウオッチ 事業	電子 デバイス 事業	システム ソリューション 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	30,459	19,110	4,649	54,220	5,213	59,433	-	59,433
セグメント間の 内部売上高又は振替高	291	700	41	1,033	879	1,912	△1,912	-
計	30,750	19,811	4,690	55,253	6,092	61,346	△1,912	59,433
セグメント利益又は損失(△)	1,396	398	263	2,059	△68	1,991	△1,105	886

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、クロック事業等を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額△1,105百万円には、のれんの償却額△141百万円、セグメント間取引消去等△63百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△900百万円が含まれております。全社費用の主なものは、親会社(持株会社)に係る費用であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ウオッチ 事業	電子 デバイス 事業	システム ソリューション 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	31,360	20,788	6,098	58,247	5,224	63,472	-	63,472
セグメント間の 内部売上高又は振替高	333	758	94	1,186	662	1,849	△1,849	-
計	31,694	21,546	6,193	59,434	5,887	65,321	△1,849	63,472
セグメント利益又は損失(△)	1,436	2,038	272	3,747	△5	3,741	△1,024	2,717

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、クロック事業等を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額△1,024百万円には、のれんの償却額△141百万円、セグメント間取引消去等39百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△921百万円が含まれております。全社費用の主なものは、親会社(持株会社)に係る費用であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。